

【注意事項】

R20TS0672JJ0100

Rev.1.00

2021.03.16 号

RL78 ファミリおよび 78K0R 用 C コンパイラ CA78K0R、
78K0R 用 C コンパイラ CC78K0R

概要

RL78 ファミリおよび 78K0R 用 C コンパイラ CA78K0R、78K0R 用 C コンパイラ CC78K0R の使用上の注意事項を連絡します。

1. switch 文の制御式が 32 ビット長である場合の注意事項

1. switch 文の制御式が 32 ビット長である場合の注意事項

1.1 該当製品

- CA78K0R V1.70 ~ V1.72 (統合開発環境 CS+)
- CA78K0R V1.20 ~ V1.70 (統合開発環境 CubeSuite+)
- CA78K0R V1.00 ~ V1.10 (統合開発環境 CubeSuite)
- CC78K0R V2.00 ~ V2.13 (統合開発環境 PM+)

1.2 内容

switch 文の制御式が 32 ビット長である場合、次のような現象が発生する場合があります。

- (a) switch 文中の一部の case ラベルに適切に分岐できない。
- (b) コンパイル時に内部エラーが発生する。
- (c) コンパイラが異常終了する。

1.3 発生条件

次の(1)から(3)をすべて満たす場合に発生する可能性があります。

- (1) switch 文の制御式が long 型または unsigned long 型である。
- (2) case ラベルの定数値の、上位 16 ビット部分が同じものが 2 つ以上ある。
- (3) case ラベルの定数値の、上位 16 ビット部分が(2)の case ラベルと異なるものが 1 つ以上ある。

```
int f(long v) { /* (1) */
    switch(v) {
        case 0x00000001: /* (2) */
            return 2;
        case 0x00000010: /* (2) */
            return 3;
        case 0x80000002: /* (3) */
            return 4;
        default:
            return 5;
    }
}
```

```

    }
}
void main(void) {
    f(1);
}

```

この例の場合は、関数 f() は 2 を返すべきですが、default ラベルへ分岐して 5 を返してしまいます。

1.4 回避策

switch 文を if 文に置き換えて回避してください。

```

int f(long v) {
    if (v==0x1)
        return 2;
    else if (v==0x10)
        return 3;
    else if (v==0x80000002)
        return 4;
    else
        return 5;
}
void main(void) {
    f(1);
}

```

1.5 恒久対策

改修の予定はありません。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Mar.16.21	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものです。誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。